

感染状況・医療提供体制の分析(2月17日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (2月10日時点)	現在の数値 (2月17日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	53人 (2.8人)	31人 (1.6人)	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要</p> <p>人口10万人当たり1.6人の新規陽性者数。 他府県での非常事態宣言及び県内での様々な対策が感染の抑制につながり、新規陽性者の総数は減少が続く。岡山県内でも中四国で初めて新型コロナウイルスの変異株症例が報告された。今後人の移動が増える時期にもなり、感染拡大に転じる可能性はある。医療者のワクチン接種が始まったが、油断せず引き続き感染対策を行うことが重要。</p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	31人 (58%)	8人 (26%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	35人	23人	→	
		県南西部	14人	7人	→	
		高梁・新見	0人	0人	→	
		真庭	4人	0人	→	
	市中潜在・ 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	19人	9人	
割合 (③/①)			36%	29%	→	
医療提供体制	④入院患者数	63人	63人	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル2. 体制逼迫の状態は緩和されつつあると思われる</p>	
	⑤確保病床における入院割合	16%	16%	→	<p>重症者数はやや減少するも、入院患者数は変わらず。先週60歳以上の新規陽性者数が増加していたのが一因と考えられる。今後も、重症患者の発生は一定程度予想される。</p>	
	⑥重症者数	5人	3人	→		